

## 地方行政サービス改革の取組状況等(令和4年4月1日現在)

自治体コード	都道府県名	市区町村名	類似団体区分
112305	埼玉県	新座市	都市 IV-3

### (1)民間委託

	直営(※)	今後の対応方針【直営(※)を選択した団体のみ回答】	【参考】	
			類似団体委託率	全国(市区町村)委託率
本庁舎の清掃			100.0%	99.4%
本庁舎の夜間警備			96.6%	98.2%
案内・受付			92.3%	86.3%
電話交換			96.3%	90.2%
公用車運転			86.7%	87.6%
し尿収集			100.0%	98.1%
一般ごみ収集			100.0%	97.2%
学校給食(調理)			93.5%	73.2%
学校給食(運搬)			95.6%	91.0%
学校用務員事務			37.9%	38.2%
水道メーター検針			100.0%	98.9%
道路維持補修・清掃等			100.0%	97.2%
ホームヘルパー派遣			100.0%	99.2%
在宅配食サービス			96.0%	99.9%
情報処理・庁内情報システム維持			100.0%	99.8%
ホームページ作成・運営			100.0%	98.1%
調査・集計			96.3%	96.2%

※令和4年4月1日現在において、直営で専任職員を置いている団体

### (3)窓口業務

総合窓口の設置		窓口業務の民間委託	
設置状況	設置予定無し	委託状況	委託予定無し
BPRの手法を用いた業務分析		【参考】	
取組状況		類似団体	全国(市区町村分)
		総合窓口設置率	委託率
		25.8%	74.2%
		総合窓口設置率	委託率
		15.3%	28.8%

### (4)庶務業務の集約化

実施状況		委託状況		対象部局				対象業務				【参考】	
実施済	委託予定無し									類似団体			
		首長部局	企業局	教育委員会	その他	給与	旅費	福利厚生	財務会計	実施率	委託率		
		○	○	○		○				71.0%	9.7%		
		「実施予定無し」及び「首長部局未設置団体」は「未実施の理由」を、「実施予定あり」の団体は「実施予定時期」を記述してください。 【人口が5万人未満の団体は回答不要】								全国(市区町村分)			
										実施率	委託率		
										35.7%	3.5%		
BPRの手法を用いた業務分析													
取組状況													

### (2)指定管理者制度等の導入

	公の施設数	制度導入施設数	導入率	前年度以降、導入が進んでいない理由	自治体職員常駐施設数	自治体職員を常駐で配置している事に対する考え方	【参考】	
							類似団体導入率	全国(市区町村)導入率
体育館	2	1	50.0%	未導入施設については、受付業務のみをシルバー人材センターに委託しており、指定管理者制度を導入することで、コストの増加が見込まれるため。	0		68.2%	40.8%
競技場(野球場、テニスコート等)	8	8	100.0%		0		60.8%	49.2%
プール	0	0	0.0%		0		67.2%	52.6%
海水浴場	0	0			0		0.0%	13.5%
宿泊休養施設(ホテル、国民宿舎等)	0	0			0		70.0%	84.8%
休養施設(公衆浴場、湯・山の家等)	0	0			0		58.8%	75.4%
キャンプ場等	0	0			0		61.5%	59.7%
産業情報提供施設	0	0			0		79.4%	74.9%
展示場施設、見本市施設	0	0			0		85.7%	65.7%
開放型研究施設等	0	0			0		40.0%	43.0%
大規模公園	1	1	100.0%		0		80.4%	44.6%
公営住宅	0	0			0		30.8%	16.5%
駐車場	14	14	100.0%		0		80.0%	36.8%
大規模公園、斎場等	1	1	100.0%		0		26.3%	23.3%
図書館	7	6	85.7%	残る1施設については、図書館全体を統括する施設として、市が運営する必要があるため。	1	図書館サービスは、長い継続性を持って、統一して実施する必要があるため、常駐職員を配置している。	26.0%	21.2%
博物館(博物館、史跡、展示館、動物園等)	1	0	0.0%	事業収益が見込みにくく、民間での制度導入のメリットが乏しいため。また、公共施設の集約化など再配置を検討していきたいと考えているため。	1	施設の特長上、文化財等に対する専門的知識を有する者の配置が必要であるが、学芸員(自治体職員)の配置は必須ではなく、指定管理者制度を導入すべき余地はある。	32.2%	28.6%
公民館、市民会館	10	3	30.0%	指定管理者制度を導入した施設の状況等を検証しながら、更なる制度導入に向けた検討を行う予定のため。	7	地域の拠点として、教養の向上、健康の増進など社会教育の活動の場として重要な施設と考え、常駐職員を配置している。	33.2%	23.6%
文化会館	0	0			0		69.4%	52.1%
合宿所、研修所等(青少年の家を含む)	0	0			0		51.7%	49.8%
特別養護老人ホーム	0	0			0		100.0%	75.6%
介護支援センター	0	0			0		75.0%	47.9%
福祉・保健センター	9	4	44.4%	公共施設の集約化など再配置を検討していきたいと考えているため。	5	現時点では、施設の特長上、市が直接運営すべきと判断しているため。	58.8%	52.9%
児童クラブ、児童館等	17	17	100.0%		0		39.0%	24.0%

### (5)自治体情報システムのクラウド化

実施済		【参考】	
		実施率(類似団体)	
		自治体クラウド	単独クラウド
		19.4%	80.6%
		全国	
		自治体クラウド	単独クラウド
		46.5%	53.5%

### (6)公共施設等総合管理計画

策定済	○	策定予定		策定予定時期
【参考】				
類似団体		全国(市区町村分)		
策定割合		策定割合		
100.0%		99.9%		

### (7)地方公会計の整備

作成済	○	作成予定		作成完了予定年度
【参考】				
類似団体		全国(市区町村分)		
作成割合		作成割合		
96.8%		91.4%		

(注1) 統一的な基準による地方公会計については、原則として平成27年度から平成29年度までの3年間で整備するように要請されているが、当該調査の基準日はその初年度の開始時点である。

(注2) 「作成済」の※印は、平成30年度決算から取引の都度、伝票単位ごとに仕訳を行う方法(日々仕訳)により令和元年度中に財務書類の作成を行う団体